

# Mémoires 2022

## 第17回 ヴィクトリアマイル (GI)



### 得意の舞台で完全復活 ソダシ

純白の馬体が得意の芝マイルで躍動、完全復活の勝利を挙げた。

2021年夏の札幌記念の勝利を最後に、秋華賞10着、チャンピオンズC12着、フェブラリーS3着と連敗中のソダシ。芝は3戦ぶり、芝のマイル戦となるとじつに桜花賞以来6戦ぶりとなるこの日は、4番人気でレースを迎えた。

1番人気は前走の大阪杯で2着のレイパバレ。これにサウジアラビアでG3を制してきたソングライン、秋華賞、東京新聞杯と連続2着のファイナルージュが続く。怪我から約1年ぶりに復帰した牝馬三冠馬デアリングタクトは5番人気に推されていた。

しかしレースは、ソダシの独壇場となった。抜群のスタートから、道中は好位の4番手を追走。逃げたローザノワールが後続を引き離しながら直線へ向くと、まずは2番手のレシステンシアに並びかけて競り落とす。続いて前を行くローザノワールを残り200m過ぎに捉えて先頭に立つと、そこからは完全に独走状態となった。

懸命に粘るローザノワールとレシステンシアに、後方からファイナルージュとソングラインが迫る。そんな激しい2着争いを2馬身後方に見ながら、力強い足取りでゴールを駆け抜ける。吉田隼人騎手が喜びを爆発させるように右拳を突き上げ、ガッツポーズを作る。久々の勝利に、レース後は「残り1ハロンは夢のような感じでした。馬の走りもフワフワしていたけど、それ以上に僕もフワフワしていました」と明かした。

これで芝のマイル戦はGI・3勝を含む4戦全勝。須貝尚介調教師も「結果が示す通り、(この距離は)レースがしやすいんでしょう」と認める完璧な走りを見せたソダシ。府中のターフで、白毛のアイドルが完全復活を遂げた。

#### 第17回ヴィクトリアマイル (GI)

5/15 東京競馬場 1600m(芝・左)曇・良 18頭									
着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	ソダシ	牝	4	55	吉田 隼人	須貝 尚介	1:32.2	④	④④
2	ファイナルージュ	牝	4	55	C.ルメール	木村 哲也	2	③	⑥⑥
3	レシステンシア	牝	5	55	横山 武史	松下 武士	クビ	⑥	②②
4	ローザノワール	牝	6	55	田中 勝春	西園 正都	ハナ	⑩	①①
5	ソングライン	牝	4	55	池添 謙一	林 徹	ハナ	②	⑨⑧
6	デアリングタクト	牝	5	55	松山 弘平	杉山 晴紀	1 1/4	⑤	⑥⑥
7	アブレイズ	牝	5	55	菅原 明良	池江 泰寿	クビ	⑦	⑮⑮
8	アカイト	牝	5	55	幸 英明	中竹 和也	アタマ	⑫	⑭⑭
9	シャドウディーヴァ	牝	6	55	坂井 瑠星	斎藤 誠	クビ	⑬	⑮⑮
10	ミスニューヨーク	牝	5	55	M.デムーロ	杉山 晴紀	アタマ	⑭	⑮⑮
11	ディヴィーナ	牝	4	55	武 豊	友道 康夫	アタマ	⑬	⑧⑧
12	レイパバレ	牝	5	55	川田 雅将	高野 友和	ハナ	①	③③
13	テルツェット	牝	5	55	D.レーン	和田正一郎	1/2	⑧	⑮⑮
14	アンドヴァラナウト	牝	4	55	福永 祐一	池添 学	1/2	⑦	⑨⑧
15	デゼル	牝	5	55	藤岡 康太	友道 康夫	1/2	⑨	⑫⑫
16	クリノプレミアム	牝	5	55	松岡 正海	伊藤 伸一	クビ	⑮	⑤⑤
17	マジックキャッスル	牝	5	55	戸崎 圭太	国枝 栄	2	⑪	⑫⑫
18	メイショウミモザ	牝	5	55	鮫島 克駿	池添 兼雄	1	⑩	⑮⑮

単勝 ⑤570円 複勝 ⑤230円 ⑩190円 ⑦360円 枠連(3-6) 1,770円  
 馬連 ⑤-⑩2,010円 馬単 ⑤-⑩4,010円 ワイド ⑤-⑩730円 ⑤-⑦1,460円 ⑦-⑩11,470円  
 3連複 ⑤-⑦-⑩8,270円 3連単 ⑤-⑩-⑦43,780円

ハロンタイム 12.5-10.8-11.4-11.6-11.7-11.1-11.3-11.8  
 通過タイム 600m ③34.7-800m ④46.3-1000m ⑤58.0-1200m ⑥1:09.1-1400m ⑦1:20.4



優勝馬:ソダシ  
 2018.3.8生 牝 白毛  
 父:クロフネ  
 母:ブチコ  
 母の父:キングカメハメハ  
 生産:安平・ノーザンファーム  
 馬主:金子真人ホールディングス(株)